

# 生産動向について（平成19年3月：「鉱工業指数」）

## 1 生産

季節調整済指数は101.0で前月比2.3%減となりました。（原指数108.9、前年同月比6.3%減）

業種別にみると、窯業・土石工業や一般機械工業など7業種が上昇しました。また、電気機械工業や木材・木製品工業など11業種が下落しました。

平成19年3月の鉱工業指数

平成12年=100

|     |    | 季節調整済指数 |     | 原指数   |       |
|-----|----|---------|-----|-------|-------|
|     |    |         | 前月比 |       | 前年同月比 |
| 福岡県 | 生産 | 101.0   | 2.3 | 108.9 | 6.3   |
|     | 出荷 | 104.8   | 3.1 | 115.5 | 6.8   |
|     | 在庫 | 107.2   | 7.2 | 99.6  | 1.7   |
| 九州  | 生産 | 109.8   | 0.9 | 120.0 | 3.0   |
|     | 出荷 | 111.7   | 0.3 | 124.6 | 3.3   |
|     | 在庫 | 91.5    | 2.6 | 88.7  | 2.2   |
| 全国  | 生産 | 107.2   | 0.6 | 119.0 | 1.6   |
|     | 出荷 | 109.7   | 1.5 | 126.5 | 1.0   |
|     | 在庫 | 96.1    | 0.5 | 91.5  | 1.6   |

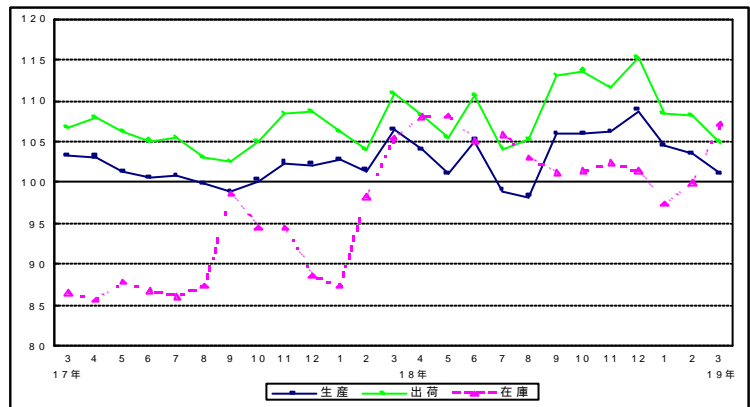
## 2 出荷

季節調整済指数は104.8で、前月比3.1%減となりました。（原指数115.5、前年同月比6.8%減）

業種別にみると、一般機械工業や鉄鋼業など7業種が上昇しました。

また、食料品・たばこ工業や電気機械工業など11業種が下落しました。

福岡県鉱工業指数の推移(季節調整済)平成12年=100

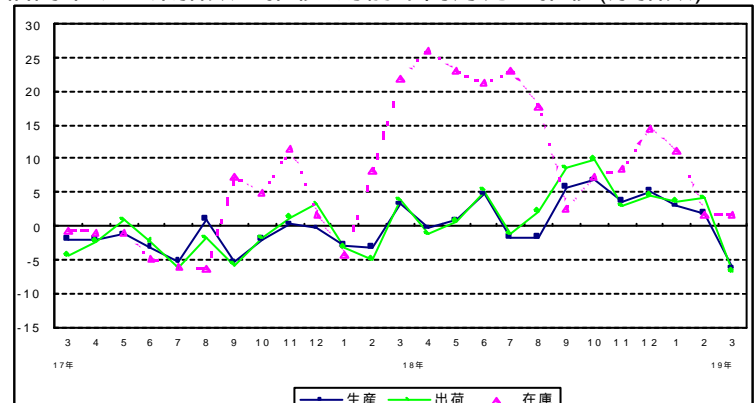


## 3 在庫

季節調整済指数は107.2で、前月比7.2%増となりました。（原指数99.6、前年同月比1.7%増）

業種別にみると、電子・デバイス工業や金属製品工業など7業種が上昇しました。また、輸送機械工業や一般機械工業など11業種が下落しました。

福岡県鉱工業指数の推移 対前年同月比の推移(原指数)



### 主要9業種の動向【生産】

| 業種      | 前月比 (%) | 前年同月比 (%) | 上昇または下落に寄与した主な品目 (前月比) |
|---------|---------|-----------|------------------------|
| 鉄鋼      | 0.7     | 2.6       | 鋼帯、冷延広幅帯鋼、めっき鋼材        |
| 金属製品    | 7.9     | 36.5      | 鉄骨、軽量鉄骨系パネル、その他の建設用鉄構物 |
| 一般機械    | 5.1     | 1.7       | ショベル系掘削機械、送風機、トンネル掘進機  |
| 電気機械    | 12.6    | 6.8       | 開閉制御装置、サーボモータ、変圧器      |
| 電子・デバイス | 2.8     | 23.3      | 線形回路、混成集積回路、トランジスタ     |
| 輸送機械    | 0.3     | 7.7       | 普通自動車、自動車部品            |
| 窯業・土石製品 | 7.0     | 8.3       | ファインセラミックス、セメント        |
| 化学      | 0.7     | 1.7       | 医薬品、カプロラクタム、硫酸アンモニウム   |
| 食料品・たばこ | 8.7     | 12.0      | めん類、冷凍調理食品、発泡酒         |
| 総合      | 2.3     | 6.3       | -                      |

ウェイト・・・平成12年における、生産活動全体を10000とした場合の各業種の規模を付加価値額の割合で表したものを。